

おおた
太田生涯学習報

はばたき

■発行／秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3
TEL0187-88-1119・FAX0187-88-2044

目次

表紙・・・親子陶芸教室、学びい、通学合宿、おはら節、料理講座、囲碁教室

鈴木空如・・・・・・・・・・・・・・・・・・2P

秋田県児童育成功労賞受賞、市芸術文化賞、野路短歌会・・・・・・・・・・・・・・・・3P

おはなし会、家庭教育学級から・・・・・・・・4P

公民館講座・花いっぱい運動表彰・・・・・・・・5P

スポーツプレイバック・・・・・・・・・・6P

太田の大自然 こんなこともしています・・7P

我が学び舎 この一年・・・・・・・・・・8～9P

チャレンジデーin大仙、全国優良公民館表彰・10P



学びい 習字もがんばっています。



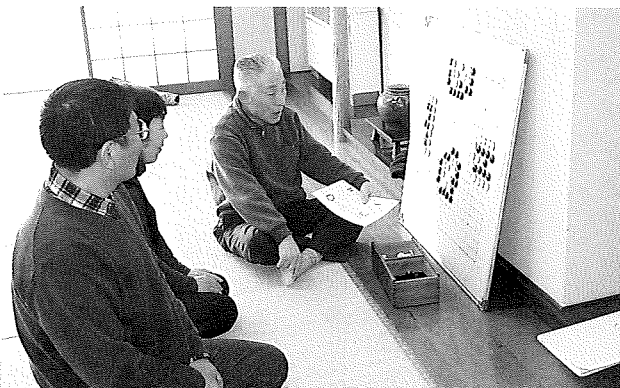
親子陶芸教室 怪獣も作れるよ!



おはら節全国大会
25年度の出場者は83名。今年は9月6日の開催です。
ぜひご来場ください。



通学合宿
水中の貴重な生物や天然記念物の松についても教えていただきました。



囲碁教室 みなさんのご参加をお待ちしております。



料理講座 太巻き寿司に挑戦!

再確認された空如の技と心

～ 進む空如作品の調査から ～



「長春」の号のある絵



ていねいに書かれた育児日記



仙台市博物館の展示

鈴木空如の作品が宮城県・東京都・新潟県の美術館や博物館で県外の美術館などの特別展で展示されることになりました。このことは、市広報「だいせん日和」(4月1日発行)の特集で紹介されています。

空如は、郷土の偉人として、旧太田町時代から小学校社会科の副読本でも紹介され、なじみが深い人ですが、今回の県外展示で全国的に空如の画業が紹介されることは、太田地域にとっては何よりの喜びです。

今回の「はばたき」では、法隆寺壁画模写に代表される空如の信念や画業とは別の角度で空如のひととなりを探ることにします。

空如の雅号

空如作品のほとんどが仏画なこともあり、署名落款(印)のある作品はわずかです。1912年(明治45)の作品には「長春」、それ以前の美術学校時代は「天民」と記したものもあります。「空如」という号は、大正から亡くなるまで名乗っており、「空はこれ諸仏の実相なり、実相の如きを如と称す」とする仏典から「空如」としたとも言われています。

愛娘の豊子

空如は45歳で上野寛永寺の大僧正大照円朗の紹介で、旗本の出のナヲさんと結婚しますが、一切の名利を求めない空如には決まった収入もなく、生活は質素極まりないものだったようです。ナヲ夫人は内職などで空如を支え、空如46歳で、待望の長女・豊子が誕生します。子供の成長という張合いができ、

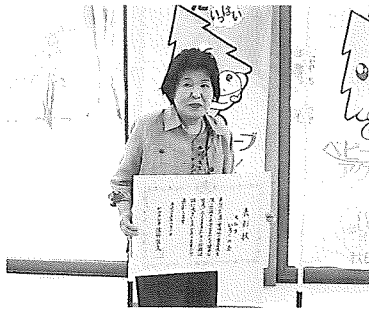
空如は「育児日記」も残すほどの子煩悩でしたが、その愛娘を肺炎で5歳で失ってしまいます。その後、空如の残した資料は5年ほど途切れることとなります。

リベラルな空如

空如の遺品には大切な絵の具箱もあります。この中にあったクシヤクシヤの紙には、昭和20年8月、終戦に際して記されたと思われる空如の意外な一面が感じ取られる一文が書かれています。

「・・・軍国主義は完全に亡び、こんな愉快なことこれ無き候。改革は、到底日本人の手では出来ないことで、占領軍にしてはじめてなされる快事に候。これからが、真の日本が出来・・・」仏教美術のいう形を大切にしてきた空如であるが、リベラル(自由)な思想を併せもっていたことがわかります。

秋田県児童育成功労賞受賞！ いろいろの会(代表 藤原サチ)



平成25年8月2日、秋田県児童健全育成表彰の表彰式が秋田県庁で行われました。

栄光賞に5団体、子ども会育成功労賞に5個人、児童育成功労賞に2団体が受賞。太田地域からは、児童育成功労賞に「いろいろの会」が受賞されました。

「いろいろの会」は、平成14年から、地域の公共施設や小学校、幼稚園でお話を開催しているほか、地域住民と親子の交流会（クリスマス会等）も開催。公民館事業における読み聞かせの講師派遣など、地域・学校と連携しながら、子どもたちの文化意識向上や放課後の有効活用のための活動を行っています。

市芸術文化賞受賞！ 小田野幸子さん(童謡の会やまびこ代表)

祝第8回平成26年度大仙市芸術文化賞表彰式



第8回大仙市芸術文化賞の表彰式並びに祝賀会が平成26年2月14日、グランドパレス川端で行われ、功労賞に6個人・1団体が受賞。太田地域からは、小田野幸子さんが受賞されました。

小田野さんは、平成12年「あかまつコーラス」「童謡の会やまびこ」に入会。平成16年「童謡の会やまびこ」代表として活動を行っています。平成15年～23年には、歌声喫茶「みんなで歌おうinおおた」実行委員会の代表として開催に尽力されました。

毎年、大仙市合唱祭や秋まつり等の行事に積極的に参加。福祉施設等でのボランティア活動を積極的に行うなど、地域の芸術文化振興に貢献した功績が認められ今回の受賞となりました。

路会 野短歌 詠草より



子供らの雪道つけて来たらし父と馬櫓の鈴音聞こゆ
藤原八重子

今しがた見送りし人は地吹雪に見えなくなりぬ天地ひと色
藤原ハル子

一年に一度箱より出す雛を座敷に飾り幸福を祈る
藤原 サチ

残光に白また白の雪景色日々のうれしいの清みてしずもる
千葉 美恵

松根油のドラム缶が停車場に運ばれてゆきそのあと知らず
高橋 岑夫

農作業も雪寄せもなき今日の日をおやき焼きつつ孫らを待たり

高橋千恵子

若さらに老いとはなあとこの思い時には一度ぶちたくなる
鈴木 誠

鉄鍋と薪ストーブにくつくつと煮上がるおでんは姑の味する
鈴木 貞子

声高く皆で唄いし県民歌郷土の誇り胸にこだます
鈴木農夫広

八十年前机並べし友が今大仙市受章者の席に坐している
鈴木 アイ

今年もよろしくと願い曾孫抱だき神前の鈴おもむろに振る
進藤美津子

友の住む千葉市は菜の花盛りとう凍てつく宵の甘酒温し
小松 キヨ

散髪に姿勢正しく来る客は九十三歳とは思えぬ若さ
草薨 ミヨ

日も暮れて腹ぺことなる子に作る昔の味の味噌焼き御結び
加藤 年子

着ぶくれの患者を呼びたる看護師は半袖のまま「寒いねえ」と言う

大信田則子

朝まだき霧氷樹林の天空に黄金おぼろの月影のこる

浅利 繁雄

おはなし会

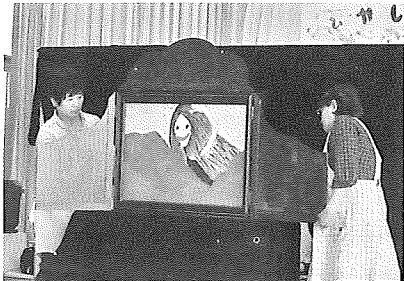
太田地域のボランティアグループによる「ふれあいほっとルーム虹」

平成25年11月、太田みなみ幼稚園の参観日にあわせ、ふれあいほっとルーム虹（代表 高橋勝子）の皆さんから、ヘンゼルとグレーテルの手作り紙芝居を英語と日本語で見せたいたり、一緒に歌をうたったりするなど、楽しいひと時を過ごしました。



お話ボランティア「いろいろの会」

平成25年10月、太田ひがし幼稚園の祖父母参観日にあわせ、いろいろの会（代表藤原サチ）の皆さんから、大きな手作り紙芝居やペープサートによるお話をいただいた。祖父母の方と一緒に楽しみました。



家庭教育学級

平成25年6月、7月、太田みなみ幼稚園、太田ひがし幼稚園の保育参観日にあわせ、運動好きな子どもを育てるにはどうのようにしたらいいのかを、カワイイ体育教室 秋田事務所所長の三浦正宏先生から、お話をいただいた。家族と一緒にジャンプやだっこをするなど、触れ合いながら楽しい時間を過ごしました。



子育て講座

平成25年10月に、4月から1年生になる保護者を対象に、太田東、北小学校は、元花館小学校校長荒川淑子先生から、「やさしさを育てるにはどのようなかわりが必要か」。太田南小学校は、南教育事務所社会教育アドバイザー石川喜美子先生から、「集団の中で学べる子ども」についてそれぞれお話をいただきました。

参加された家族の方たちは、真剣に耳を傾けていました。



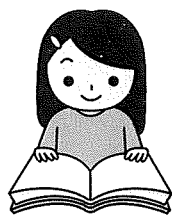
太田図書館

からのお知らせ

出張図書館を始めました。ぜひご利用ください！

太田図書館には2万冊近くの本があり、毎月約30冊の新作を購入しています。皆さんに図書館の本をもっと身近に感じてもらうように、太田支所のロビーにも本を置いてあります。ぜひご覧ください。

探している本や読みたい本が太田図書館に無い場合でも、市内の他の図書館や県立図書館など他館にある場合は取寄せることができますので、職員へお気軽にお声をかけてください。本が届くまで1週間ほどかかります。



太田公民館からのお知らせ

平成26年度から新しい講座がはじまります!!
ふるさとシリーズの講座で地元の野菜や味噌を使った料理教室や表装、書道など一年を通しての講座が始まります。詳しくは広報のチラシなどお知らせしますので、ご期待ください。たくさんの方をお待ちしております。

暮らし いきいき 公民館講座

今年の講座は、6月から囲碁教室を新しく始めました。太田地域以外の方や小学生など楽しみながら腕を磨いています。7月には焼き物講座が始まり、冬季短期講座としてパッチワーク・料理・生け花・押し花・編み物・ITと8つの講座を開催し、たくさんの方々から参加していただきました。

料理講座では郷土の料理として太巻き寿司とおやき、花みそを作りました。太巻き寿司は、すぐに定員の20名になってしまい追加の講座を開くほど昨年引き続き好評でした。

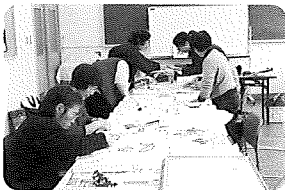
また、編み物や押し花講座等のものづくりの講座が多かったことから参加者は試行錯誤しながら自分のイメージするデザインを形にしながら、ものづくりの楽しさを味わっておりました。

楽しく学びながら、自分の生活や生き方を充実させたい、何かを始める第一歩を踏み出したいと思ったら、気軽に講座に参加してみてください。

公民館ではこれからも楽しみながら自発的に学べる学習機会を提供することにより皆さんの生涯学習のお手伝いをしてまいります。



生け花講座



押し花講座



やきもの講座



編み物講座



パッチワーク講座



IT講座

花いっぱい

第49回全県花だんコンクールの現地審査が9月18日に行われ、表彰式が10月30日に秋田市の遊学舎で行われました。

また、太田地域花いっぱいコンクールの現地審査が8月21日に行われました。表彰式は平成26年度おたの会総会に併せて行います。

次の方々が上位入賞されています。(敬称略)

全県花だんコンクール

《特別優秀賞》駒場新生会 (毎日新聞社秋田支局長賞)

太田ひがし幼稚園 (秋田県緑化推進委員会会長賞)

大仙市太田南小学校 (あすの秋田を創る協会会長賞)

高貝ヨシエ (秋田県花いっぱい運動の会会長賞)

《モデル花だん》小神成花の会・太田中学校・太田みなみ幼稚園・後藤圭子

《小畑好子賞》高貝ヨシエ

太田地域花いっぱいコンクール

【家庭の部】

《特別優秀賞》佐々木英子・田口明子・高貝ヨシエ・後藤圭子・佐々木貞直・佐々木笑子・佐々木昭子

【団体の部】

《特別優秀賞》太田みなみ幼稚園・太田中学校・太田東小学校・太田南小学校・太田北小学校・太田ひがし幼稚園・北小神成集落会・南小神成花の会・田ノ尻集落花だん・駒場新生会・大仙市太田地域老人クラブ連合会・下南地域花だん・横沢東婦人部・上南地域花だん

平成25年度花のまつり運動推進事業
第49回全県花だんコンクール表彰式



《全県花だんコンクール入賞者と全県花いっぱい運動の会会長》



《高貝ヨシエさんの花だん》



スポーツプレイバック

チャレンジデー2013

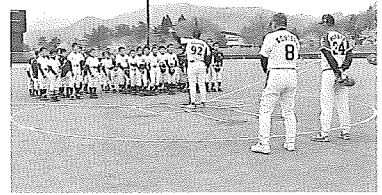
5月29日

世界一斉に実施するスポーツイベント「チャレンジデー」に今回も参戦。今年度から大仙市として参加。結果はまたもや負け…（大仙市内では太田町がもちろんトップ!）今年の5月28日こそは”倍返し”でリベンジしましょう。



少年少女野球教室inおおた

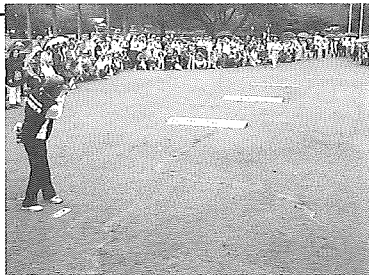
5月11日
太田球場



長年続いているこの野球教室。地域の野球愛好者などの支援によって実施しています。

秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会

8月31日
9月1日
（日本一のグラウンド・ゴルフ場）



今年は全国から648人の兵が集まり行われた南部忠平杯。沖縄宮古島大会出場権は高橋晃（横手市）さんが獲得。今年はあなたも参加してみては？

てくてくウォーキング

6月8日
奥羽山荘～
大台スキー場
展望台



大仙市スポーツ推進委員認定コースで実施されました。折り返し地点となる大台スキー場展望台から見える下界の風景に参加者みんなが癒されました。

スポーツ少年団交流会

12月26日
NHKほか

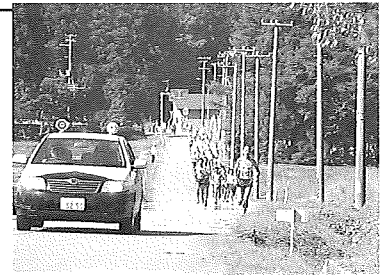
日頃はライバル同士のチームとの交流会。スポーツだけ練習しても子どもの健やかな成長は望まれません。スポ少太田支



部では様々な体験や人とのコミュニケーション能力の育成に努めています。（この度アナウンサーに挑戦しました!）

奥羽太田ロードレース大会

10月14日
奥羽山荘周辺特設
コース（日本陸連
公認）



今年で15回目の恒例の大会。県内外から345名がエントリー。秋晴れのもと爽やかな汗を流しました。

表彰 功績をたたえて
おめでとうございます。

太田のスポーツ振興に尽力

田村辰徳さん（中里）が秋田県スポーツ推進委員協議会より功労者表彰を受けました。



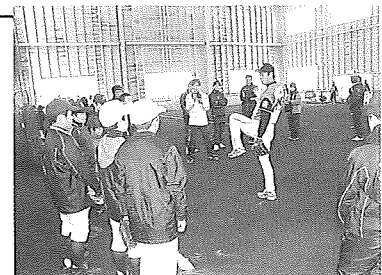
田村さんは平成16年より太田町体育指導員に委嘱されて以来、太田町のスポーツ振興及び普及のため率先して事業の推進に尽力されました。現在も総合型地域スポーツクラブ「おおたスポーツクラブ」の中核として事業運営に携わっております。

生業の農業と同様に若手のリーダー格として今後の活躍が期待されます。

冬季少年少女野球教室

12月29日
交流プラザ

日本ハムファイターズファーム総合コーチの伊藤剛さんを講師に迎え開催。日ハム選手時代から通算で11回目の野球教室も充実したものになりました。



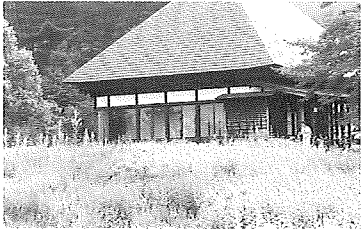
伊藤コーチも太田からのプロ野球選手誕生が心待ちの様です。

太田の大自然 こんなこともしています

ナチュラルガーデン講座(4月～10月)

あか松庵離れ「もみじ庵」に面する庭を使い、太田の自然に合った庭造りを実地体験で学ぶガーデニング講座を実施しております。四季を通じての楽しめる自然のコントラスト。よくある“花壇”とは違った植物本来の美しさを求めています。

今年の詳細については4月の広報でご確認を！



山登り教室(11月～10月)



「登山を始めたいけど何からはじめたらいいかわからない」といった初心者や、登山の基礎を身に付けたい方を対象とした山登り教室を実施しております。11月から4月は公民館で座学による勉強会での山に対する知識を高め、5月からはそれを実践するこの教室。20代から70代の老若男女が参加しています。

今年もう募集を締め切っているの、次から参加したい方は10月頃の広報を要チェック!!

豆知識 ～山で山菜取りすると捕まるの!?

太田の半分以上が“山”ですが、大きく分けて国有林(林野庁管理林)と民有林(個人所有林)に分けられます。皆さんがたけのこやきのこなど山菜類を採取するところはおそらく国有林地内と思われませんが、国有林の産物はだれでも自由に採取してもいいのでしょうか?

「共用林制度」というのがあり、それは山村の振興や福祉の向上のため、地元住民が国と契約を結び林産物の採取などに国有林を使用できる制度です。大仙市では住民に代わって市が国と契約を結んでいます。ですので“福祉の向上”の範囲内で採取可能となっています。

ですが、真木真昼県立自然公園地内では県条例により採取が制限されている植物があります(“カタクリ”や“ギョウジャニンニク”など)。もしも採取し通報されると罪に問われる場合もあり、実際に他県では書類送検されたケースがあるみたいです。ルールを守ってこれからの山菜取りを楽しんでください。

～大台山での森林学習活動～



キャンプ体験



除伐体験



メープルサップ採取体験



ナメコ収穫&植菌体験

この一年

行事から

太田中学校

「震災直後から唯一町ぐるみで継続して支援してくれている太田中の皆さんです。」昨年、10月26日、大槌中学校の文化祭で紹介されました。地域をあげての支援、地域に支えられての交流と受け止めてもらえた、中学生が地域の皆さんの思いも被災地に届けていると思うと本当に意味のある言葉でした。



今年度も5回の大槌訪問を行いました。6月5・6日、1年生は「被災地を知る」をテーマに訪問しました。訪問の前に3年生を講師に事前学習、そして被災した街を自分の目で見て学んだことは多かったはず。8月8日、生徒会の仮設住宅訪問、吹奏楽部と小学生バンドの共演、暑中見舞いはがきと高校生手作りの風鈴を一軒一軒廻って届けました。8月30日、2年生が「被災地の変化を知る」をテーマに250個のプランターの花を携えて訪問、大槌中生と一緒に飾り灰色の仮設校舎に色彩が甦りました。10月25・26日、3年生が「心の支援・交流」をテーマに大槌中の学校祭に参加、合唱と「よさこい」を披露しました。小学生や保護者、地域の皆さんから託されたお米は800kg、この米を2kgと3kgの化粧箱に詰め小学生が書いたメッセージカードと一緒に届けました。そして12月14日、生徒会主催の仮設住宅訪問です。12月と1月のカレンダーのついた手作りカードと農産加工部の皆さんが早朝から作ってくれたおやきを持っての訪問です。「去年も来てくれたよね、ありがとう」と続けているからこそいただける言葉、誰かに喜ばれたときに味わえる嬉しさは人生の糧となる貴重な体験です。

そして長年取り組んできた花壇づくりや被災地支援など、51年間の歴史のすべてを認めていただき、青少年育成秋田県会議から青少年育成功労団体表彰されました。地域の皆さんと一緒に喜びたいと思い紙面を借りて報告いたします。

太田南小学校

秋田県民歌と太田南小学校校歌の作詞者は、卒業生の倉田政嗣氏です。(作曲者はどちらも成田為三氏で、このペアで校歌が作られているのは、県内で本校だけ。歌詞は、どちらも4番まであります。)

2つの歌は本校にとって宝物で、これを歌い継ぐことは、本校に課せられた重大な使命といえます。

昨年の11月、AKT秋田テレビから本校に、「開局45周年記念の新春特番を制作するので、新県立美術館の『秋田の行事』の大壁画の前で、子どもたちに県民歌を歌ってもらえないか。」とのオファーがありました。本校は、この申し出を快諾しました。

12月11日、本校の4～6年の子どもたちは、新県立美術館に向き、藤田嗣治が描いた大壁画の前で特番の収録を行いました。

そして、年明けの1月2日早朝、「合唱大いなる秋田 - 秋田の行事の前で -」のタイトルで、その番組は放映されました。

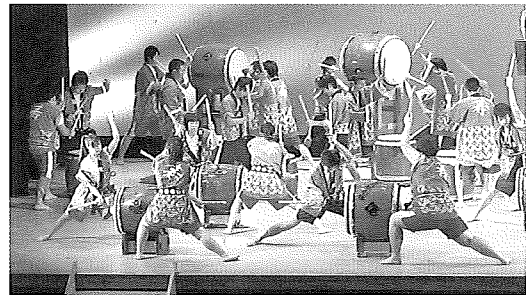
そこには、背筋を伸ばし、正面を見据えながら、堂々と、しかも凛々しく県民歌を歌いきる、本校の子どもたちの姿がありました。

ちなみに、特番収録の際、大壁画の前で撮った6年生の集合写真は、フランスの財団の許可を得て、卒業アルバムのとびらに載せられることになりました。これも、きっと子どもたちの新たな宝物になることでしょう。



県立大曲農業高等学校 太田分校

今年度も太田分校では総合的な学習の時間に全校民謡に取り組みました。今年は全員が東今泉八幡太鼓に挑戦。92名の生徒が2班に分かれて、太田公民館を会場に月2回ほど練習を行いました。練習では保存会の方々の並々ならぬご尽力を賜り、何とか10月27日の中仙ドンパルでの発表会に辿り着くことができました。昨年からは始めた班は技能も上達し、勇壮で迫力あるバチさばきを披露することができました。今年から挑戦した1年生中心の班も、半年間で大分息の合った演奏ができるようになり、観客からも盛んな拍手をいただきました。太田分校は伝統文化の学習に力を入れ、日々の教育活動に取り組んでいます。昨年からは郷土芸能部が地元横沢に伝わる「横沢ささら」に取り組んでいます。今後も様々な教育活動を通じ、地域の方々との交流を深めていきたいと思っております。

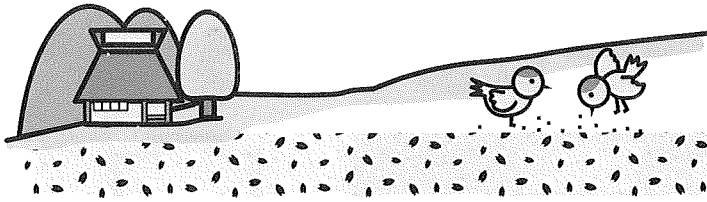


太田東小学校

本校にはボランティアとして協力くださる地域の方が、ありがたいことにたくさんいらっしゃいます。中でも、高橋広之さんには、本校職員の様々なニーズ(無理難題?)に応じていただいています。今年は、生活科の学習で、畑先生になっていただき、ドン(米菓子)を作って楽しみました。クラブではペットボトルと野草の生け花に挑戦したり、釣りを楽しんだりしました。軽トラの上にドラム缶を積んだ自作のピザ焼き機でおいしいピザも焼きました。冬になるとスキー学習の指導です。高橋さんは、授業が始まる前にグラウンドに出て、雪山の斜面の整備までしてくださいました。また、授業以外でも、子どもたちに見せてあげたいと、珍しいトンボの幼虫のヤゴやモリアオガエルの卵を持ってきてくださったたりしました。珍しい花を廊下にそっと飾ってもくれました。そして、今年最後の活動は、毎年6年生が制作する紙風船作りでした。



2月15日、卒業生の希望を乗せて紙風船は夜空に高く舞い上がっていきました。高橋さん、本当に、本当に感謝です。



我が学び舎

印象に残る

太田みなみ幼稚園

平成26年度から、「認定こども園おおたわんぱくランド」としてスタートすることが決まっております。今年度は「太田みなみ幼稚園」という名称で活動できる最後の年となりました。恒例行事だけではなく、特別企画としてPTA等のご協力を頂きいろいろなことを楽しみました。全園児合わせて27名の少人数ということもあり、どこへ行くにも何をするにもみんなが一緒の一年でした。

中でも一番印象深いのは、大台山への親子登山です。例年であれば年長組だけの登山を、今年度は全員が挑戦しました。年齢ごとに登る距離は違い、5歳年長組は展望台のある頂上まで、4歳年中組は中腹の梨の木まで、3歳年少組は第一リフトまで登っていきます。「ガンバレ!ガンバレ!」と友達や家族の応援を受けながら、クラスごとのゴールを目指して一步一步進んでいく姿に頼もしさを感じた瞬間でもありました。また、そこから見る景色は本当にすばらしく、「みんなで大台山に登ったよね」と大台山の雪山を楽しんだ園児が今だ、登園バスの車中で話題としています。みなみ幼稚園で過ごした思い出のひとつとして、保護者の方々と一緒に記憶に残ってくれればと思っています。



時代の流れと共に保育現場でも変化することが多々ありますが、みなみ幼稚園の合言葉である「きらきら・のびのび・えがおのこころ」を忘れずに、どの子どもも心豊かにたくましく育ててほしいと思っています。最後になりましたが、「太田みなみ幼稚園」をあたたく見守り支えてくださった保護者と家族、地域や関係機関、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



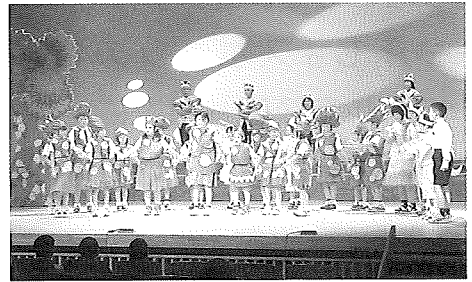
太田北小学校

今年度も「全校音楽劇」の公演が、多くの方々のご厚意の賜で、無事終了致しました。

4月、7年目を迎える平成25年度の新しい演目は、宮沢賢治原作『どんぐりと山猫』に決定。6年生が原動力となり、原作の読み合わせ、内容の検討提案、テーマの決定、人物像のイメージ化、台本の読み合わせ、オリエンテーション……と学習活動が進み、オーディションを経て夏休み前には、全配役が発表されました。

夏休み明けの8月末から公演本番までの二か月余りは、通常の学習活動と並行してミュージカル学習が展開され、保護者の方々も含めたスタッフの皆さんの、陰になり日向になり活動も始まりました。家族の皆さん、地域の皆さんの応援や期待も広がってきました。

そして、公演本番。太田町国見の小さな学校が、「小さくてもキラリ」と輝き、ドンパルのステージ上に今年もまた大輪の花を咲かせることができました。観客の皆様の感想には勿論、学校評価の保護者アンケートにも、「全校音楽劇」を応援する温かい言葉が溢れています。



おおた保育園

今年も祖父母を招待して「クリスマスお楽しみ会」を行いました。来年度太田地域の幼稚園と保育園は幼・保一体型となり、現在のおおた保育園は「認定こども園おおたわんぱくランド すくすく園」となり、この園舎で生活するのは0～2歳児だけとなってまいります。そのためこのクリスマス会がプレイルームのステージで3～5歳児が歌や踊りを披露する最後の行事となってしまいました。

3歳児は今一番気に入っているクリスマスソングを全員で張り切って歌い、4歳児はキッズダンサーがEXILEを踊ったり、マジックショーなど自分が好きなことや得意なことを披露し、5歳児は新しく合奏に挑戦したり、「クリスマスチャレンジ」と称して、今自分が出来なくても取り組んでみたいこと(鉄棒や縄跳び等)に挑戦してみせ



てくれました。

やり終えた子ども達の満足げな表情に、保護者からは一人一人に温かな拍手が送られました。



太田ひがし幼稚園

長い歴史のある本園も、惜しまれつつも今年度で閉園となります。今年も、様々な園行事を地域の皆さんや保護者の方々のご協力をいただきながら行ってまいりました。

中でも、今年度は閉園記念として、ネイガーの交通安全教室や豪風園と触れ合う会がありました。子どもたちのヒーローである、憧れのネイガーが教えてくれる交通安全教室では、キラキラと目を輝かせながら、交通ルールを楽しく学んでいた子どもたちでした。豪風園と触れ合う会では、大きな豪風園を相手に、友達と力を合わせて相撲をとったり、質問をしたり…。お礼に「ちゃんこ鍋に入れて、たくさん食べてください」とみんなで大切に育てたカボチャとサツマイモをプレゼントしました。自分達で収穫した物を贈り、喜んでもらったことで、子どもたちの収穫の喜びもさらに大きくなったことと思います。

あたたかな地域の皆さん、家族、太田ひがし幼稚園での友達との楽しい思い出を胸に、新しい園での生活がさらに楽しいものとなるよう願っています。



今年も体を動かしましょう

チャレンジデー in 大仙

5月28日(水曜日)

今年度の対戦相手は… ^{へきなん}**愛知県碧南市**

まちとまちとがスポーツ（運動）を実施した住民の参加率を競うチャレンジデー。今年こそは、金メダルを目指しましょう。今年も「スポーツの力で日本を元気に！」をスローガンに、体を動かして、みんなで参加し、地域を元気にしましょう。

どんな運動でも構いません。
太田のパワーを全国に見せましょう。

自宅でも、職場でも、田んぼでも

自分の好きな場所で参加しましょう

みんなで参加!
チャレンジデー 大仙市共通イベント

全市一斉 グリーンアップウォーキング

開催



主催：大仙市スポーツ推進委員会
後援：大仙市チャレンジデー実行委員会
大仙市、大仙市教育委員会
大仙市大曲環境衛生推進協議会

- 5:50 太田公民館集合
- 6:00 グリーンアップウォーキング
- 6:20 オープニングセレモニー
- 6:30 ラジオ体操

軍手、火ばさみ等は
ご持参願います
多くの皆様のご参加を
お待ちしております

公民館活動に 文部科学大臣表彰

今年の冬も、予報どおり四年連続の大雪となりました。そんな雪が降りしきる厳寒の一月にひとつの吉報が入りました。それは、太田公民館が「第六十六回全国優良公民館」として表彰が決定したとの連絡でした。

この表彰は全国の公民館の中でも、特に優れた活動と特色ある事業を行っている公民館に授与されるもので、三月四日に文部科学省において表彰式が行われました。太田公民館の活動につきましては、本誌に主な事業を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

今回、優良公民館として受賞できましたことは、長年に亘り地域住民の皆様や芸術文化、生涯学習、生涯スポーツなどの各団体のご指導、ご支援によるもので、「太田公民館」の表彰となっておりますが、これは太田地域の皆様への表彰です。この紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

私たち太田公民館職員一同はこれからも地域の公民館として、皆さんの生涯学習のお手伝いをしてまいりますので、ご指導、ご支援よろしくお願いいたします。

